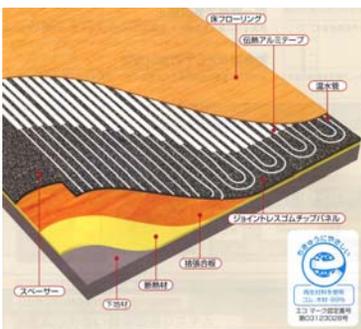


施設用温水床暖房システムの現状と展開

技術部 製品開発グループ 澤田哲則

施設用温水床暖房システムは、体育館床暖房システムで培った床の安全性と快適性を備えることから高齢者向け施設や幼児向け施設、福祉施設や学校・文教施設など、身体的な弱者の方々が利用される施設を中心に多くのご愛顧を頂いています。おかげさまで施工面積も30万㎡を突破！施工実績も北海道から鹿児島まで31都道府県を網羅しています。（製造・販売：サンポット（株））

温水床暖房システムの概要



ゴムチップパネルを暖房層に用い、安全性を備え、床暖房に適した多層構成の床は、林産試験場と民間企業との共同開発により特許第2651986号「床構造」（1997）を取得しています。

普及マップ



札幌工業高校



佐呂間保育所



きたえーる

秋田県：19,351㎡

山形県：42,578㎡

円柱グラフの内訳

- 82,207 高齢者
- 53,843 高齢者施設
- 27,005 幼児施設
- 61,565 その他 福祉施設
- 39,788 学校・文教施設
- 39,265 体育館
- 39,265 一般施設

北海道：58,825㎡

青森県：10,416㎡

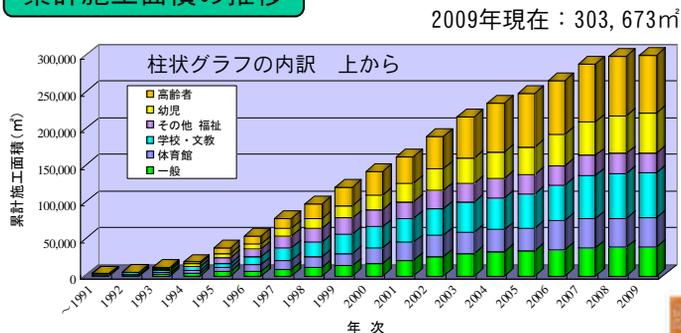
岩手県：14,887㎡

宮城県：17,413㎡

福島県：71,367㎡

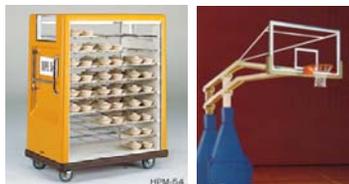
山梨県：23,881㎡

累計施工面積の推移



施設用温水床暖房システム・今後の課題

可動式重量物への対応



例えば福祉施設における配膳車や体育館におけるバスケットゴール、可動式観客席などの可動式重量物による床の損傷を防ぐ技術の開発に取り組みます。

多様なエコ熱源への対応



潜熱回収型石油・ガスボイラー、電気ボイラー、気中熱ヒートポンプ、地中熱ヒートポンプなど、様々なエコ熱源が開発されています。床暖房システムも各種エコ熱源に対応し、地球温暖化の防止に貢献する技術の開発に取り組みます。

武道場床への対応



平成24年から必修化される、中学保健体育の武道の授業が、安全、かつ効率的に実施できる武道場用の床暖房システム開発に取り組みます。